

中学・高校生～

2018年12月 no. 69

よんでネット*

2018 冬号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



新潮社
〔949テ〕

「ハリネズミの願い」

トーン・テレヘン
長山さき 訳

「親愛なる動物たちへ

ぼくの家にあそびに来よう、キミたちを招待します。でも、だれも来なくても だいじょうぶです。」

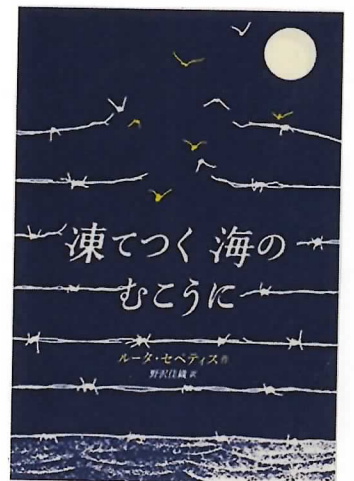
ある日、つきあいの苦手なハリネズミが誰かを家に招待しようと手紙を書くが、どんな動物が来るだろうとか悪い想像がどんどんふくらんで手紙を出す勇気がでない。臆病なハリネズミはいつ一歩ふみだせるのだろうか。



「凍てつく海のむこうに」

ルータ・セペティス 作 野沢佳織 訳

1945年第二次世界大戦末期、ソ連軍の侵攻によりドイツ政府はバルト海を經由して住民を避難させることにした。人々はソ連軍の爆撃をさけ、ヒットラーの人種差別の検査をくぐりぬけて港に各地から押しよせた。〈ヴィルヘルム・グストロフ号〉に乗船できた一万余の人の中にそれぞれに秘密をかかえた4人の若者がいた……。船は出航したが、海底には魚雷をつんだソ連軍の潜水艦が……。



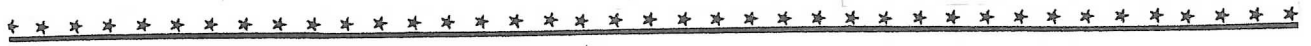
岩波書店
〔933セ〕



小学館
〔976マ〕

「弟は僕のヒーロー」 ジャコモ・マッツァリオール 関口英子 訳

僕はジャコモ。6歳のとき特別な弟ジョヴァンニが生まれた。弟はダウン症候群、ハンディキャップをたくさん持っている。僕は中学に入ると弟のことを隠すようになった。でも、高校生になった今は「弟は僕のヒーロー」っていえる。ジャコモが弟を撮影したショート・ムービーは大反響を呼んだ。巻末にアドレスがのっているので今もインターネットで検索できるよ。



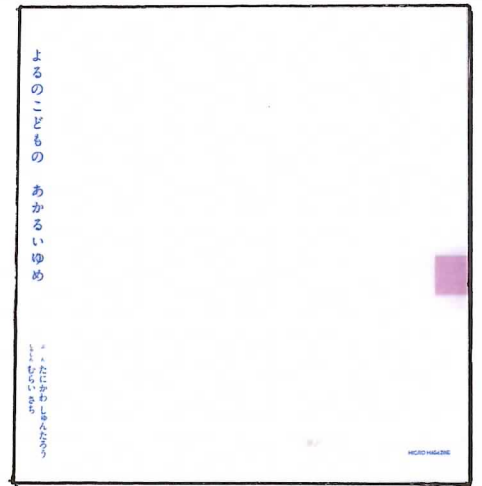
「よるのこどものあかるいゆめ」

ぶん たにかわ しんたろう しん むらいさち

寝る前 スマホを見つめていると、ブルーライトで目が冴えちゃう。でも、海中写真の優しい青なら夢の世界へ誘うよ。

— めをつむってごらん よるがゆめで あかるいよ
ゆめはゆらゆら ゆれながら
だれかがねるのを まっている… —

スマホの代わりに この本を！ ぐっすり眠れる
不思議な本。



マイクロマガジン社
〔E: 絵本のコーナー〕



フレーベル館
〔949ウ〕

「100時間の夜」 アンナ・ウォルツ 野坂悦子 訳

オランダに住む14歳の少女エミリア。父さんのスキャンダルでネットが炎上。エミリアは、ひとり飛行機に乗り ニューヨークへ逃げ出した。そこへ襲ってきた巨大ハリケーン。大停電になった。知り合いになったセスとアビー兄妹の家で、ケがをしたジムも加わり、4人の避難生活が始まった。それぞれ問題をかかえていた4人だったが一緒に大停電を乗り越えていくうちに…。